

令和5年度 全国学力学習状況調査の結果

京都市立七条中学校

令和5年 10月

4月18日に、全国の中学生を対象に「全国学力学習状況調査」が実施され、今年度の3年生164名が参加しました。本調査では、国語・数学・英語3つの調査と同時に、生活実態や家庭学習状況に関する生徒質問紙（アンケート）も実施されています。本校の生徒の実態について、すべての保護者様に关心をもっていただきたい、調査結果の一部になりますが、分析も加えて以下にご紹介します。ぜひお子様と一緒にご覧ください。

総合結果

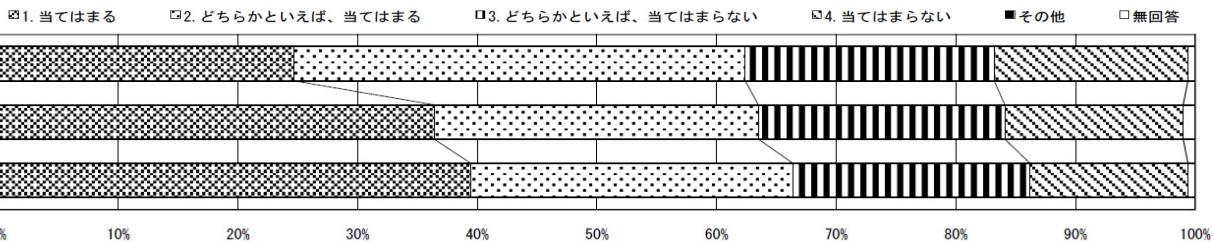
正答率は、3調査とも全国平均を上回る結果となりました。本校3年生は、京都市が独自に実施している「学習確認プログラム」の結果においても京都市の平均を上回る結果となっています。中学校入学当初より、何よりも学びの時間を大切にし、さまざまなスタイルで学習に取り組んできた成果が出ています。3年生は、卒業後の進路決定へ向けて、さらなる基礎学力の定着をすすめるとともに、「全国調査」で問われたような応用問題や英語の「話すこと」テストにも対応できる力をつけるために、どの問題に対しても粘り強く最後まで取り組める姿勢の育成に向け、指導してまいります。

国語	全ての分野・観点において、全国・京都府の正答率を上回っています。特に基本的な言葉の意味や歴史的仮名遣いの問題に対する正答率は高いものでした。また、記述式の問題の正答率は、全国・京都府の正答率をはるかに上回っていました。条件に従って書いたり、自分の考えをまとめたりといった活動を、授業や定期考査の問題で行ってきた慣れや定着が見てとれます。ただし、漢字や語彙力については課題がありますので、日頃から漢字を使って書く習慣をつけ、いろんな言葉に出会い表現の幅を広げられるように、さらなる向上を目指して取り組んでいきます。
数学	学力テストで出題された多くの問い合わせについて全国・京都府の平均通過率を上回っています。特に数と式の分野の結果から、基礎的・基本的な力が定着していることを示されました。ただし、箱ひげ図・資料の活用など、与えられた資料からその資料の傾向を読み取り、表現する問い合わせについては苦手としていることもわかりました。日常の授業の中で今後は基礎的な知識をもとに、自らの考えを表現していく課題を充実させ、応用問題にも力が活かせるような授業に取り組んでいきます。
英語	ほとんどの問い合わせにおいて、全国・京都府と正答率を上回っています。ただし、記述式の問い合わせについては、全国平均を下回っています。別日に実施した「話すこと」のテストでは、全国平均を上回っているものの、高い水準ではありませんでした。また、質問紙において、外国人の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと感じている人が多かったので、その意欲を学習に直結できるように、興味関心と授業のつながりを意識しながら、主体的に取り組める授業を展開していきます。

生徒質問紙調査から（1）

「将来の夢」とは、職業のことを指す以外にも、「〇〇に住んでみたい」や「△△をしてみたい」という、これから先の“願い”も含まれますよ♪

Q. 将来の夢や目標を持っていますか

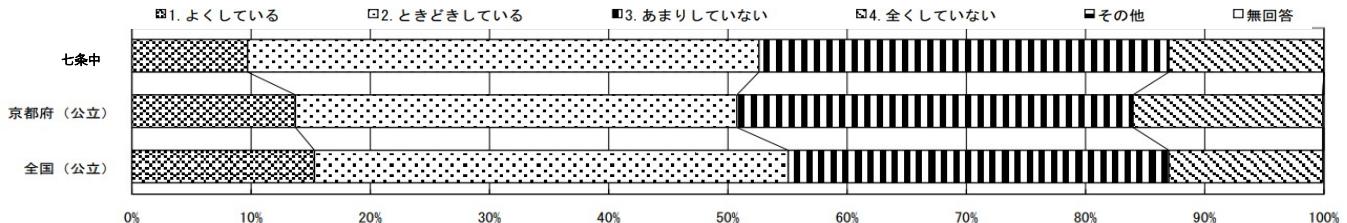


学校生活や友人関係で満足感を得ていたり、いじめを許さない心や規範意識が高い結果が出たものの、これから先の具体的な将来像をまだ描けていない傾向が見られました。残りの中学校生活や卒業後の生活の中で、「こんなになりたい」「こんな仕事をしてみたい」というあこがれの存在に出会ってほしいと願っています。



生徒質問紙調査から（2）

Q. 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか



質問紙の調査内容からは、前向きな考え方を持ち、学校生活を充実させていることが十分にうかがえる結果でしたが、あえて家庭学習についての課題を取り上げます。上記の問い合わせに「している」と答えた生徒が少ないと加えて「全くしていない」「あまりしていない」と答えた生徒の割合が半分を占めました。これからの時期は、いよいよ卒業後の進路に向けての準備が本格的になってきます。定期テストだけではなく、日々の授業で実施される小テストや課題など、日ごろの頑張りをしっかりと發揮するときです。自分に関わる予定を確認し、大切な日に照準を絞って物事を進めておくことが大事です。ご家庭でもお声かけください。テスト前だけの準備では足りません！

この先3か月のカレンダーを作り、どこに向かっていて、今は何を優先して取り組むべきなのか、わかるようにしておくのがおすすめです。



全体を通した本校の成果と課題

本校では、学級活動だけではなく、授業でも少人数活動（グループ活動）を積極的に行い、発表や説明をする時間を設定して、生徒自らが積極的に「発信」し、主体的な学びと学力の定着を図る取り組みを行っています。

◆家庭学習をすすめる背景として、授業の予習復習の時間を確保している生徒が少ないという傾向にあります。授業に積極的に参加する生徒が多いということから、今後さらに力をつけて伸ばすために家庭学習の時間を確保し、自学自習の時間が増えることが大切だと考えます。

◆学校生活については「学校に行くのは楽しいと思いますか」「いじめは、どんな理由があってもいけないことがありますか」という質問に「そう思う」「あてはまる」と答えた生徒の割合が全国平均を大きく上回りました。本校では、学習面の充実はもちろんのこと、道徳の授業や学校行事、学級活動、生徒会活動などの特別活動等も充実しています。それらの活動を通して、生徒と教職員、生徒同士の良好な集団づくりができると思われます。また「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか」との質問に対し、60%の生徒が「よくある」と答え、35%の生徒が「ときどきある」と答え、この数字は全国、京都府の平均を大きく上回りました。家庭や地域に、大切に見守られて育ってきたことがうかがえます。

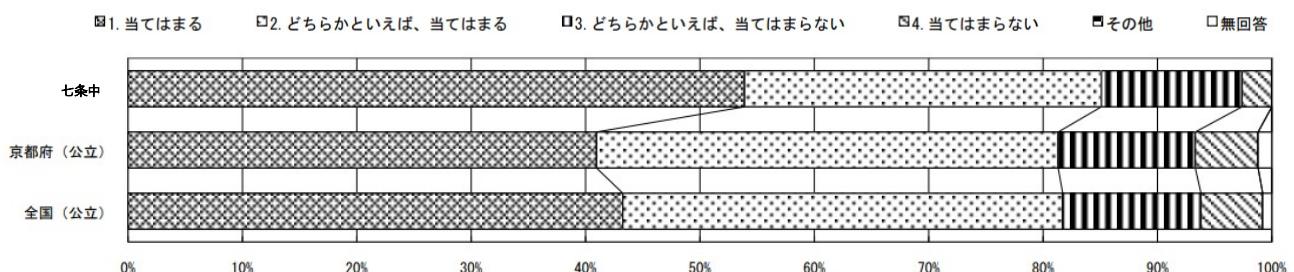
◆「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」という質問には、全国平均よりも多くの生徒が「あてはまる」と答えており、生徒と家庭、家庭と地域と学校の密接な関係づくりがすすんでいることの表れであると考えます。学校・家庭・地域、この3つの確かな信頼関係のもと、生徒が充実した学校生活を送れるように、学校は継続的に取り組みの実践と充実を図ってまいります。

保護者のみなさまへ

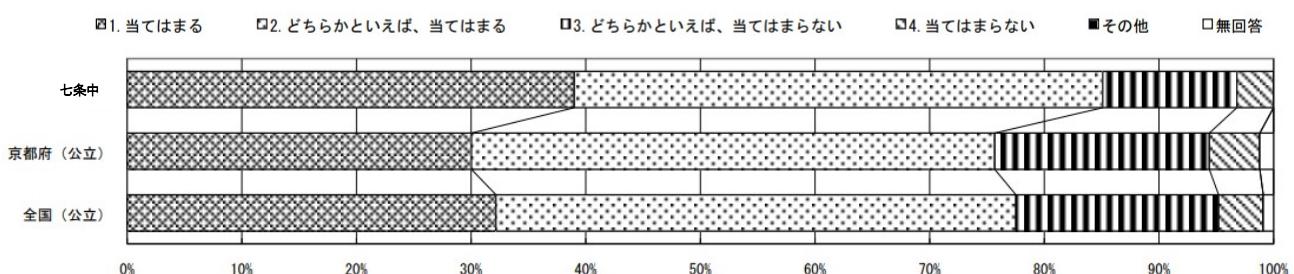
全国調査は、子どもたちの学習状況を知り、子どもたちの可能性をさらに伸ばしたり、課題を解決していくためのものです。

学力は、学校・家庭・地域での地道な積み重ねにより定着していくものであり、望ましい生活習慣や日々の学習習慣がその基盤となります。今回の本校の結果から、課題となる生活習慣（家庭学習の時間や計画性、家庭における書籍数の少なさ）も見えてきました。これを現3年生だけの問題ととらえず、全体の中で少しづつよい方向に導きたいと思います。引き続き、保護者の皆様には、子どもたちの健やかな成長と、学びの環境作りにご協力いただけますよう、宜しくお願ひします。 <裏面に、全国・京都市平均を大きく上回っているものを掲載いたします>

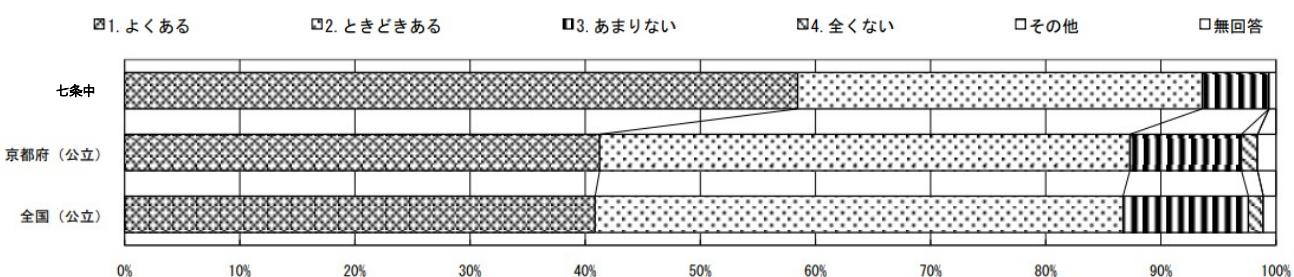
◆学校に行くのは楽しいと思いますか



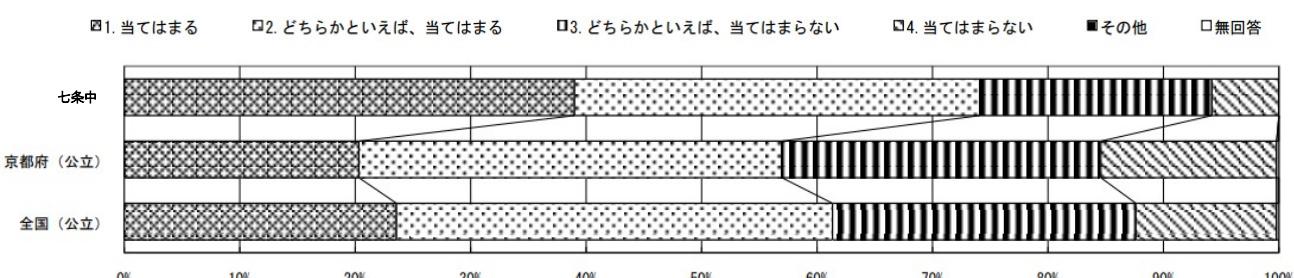
◆自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか



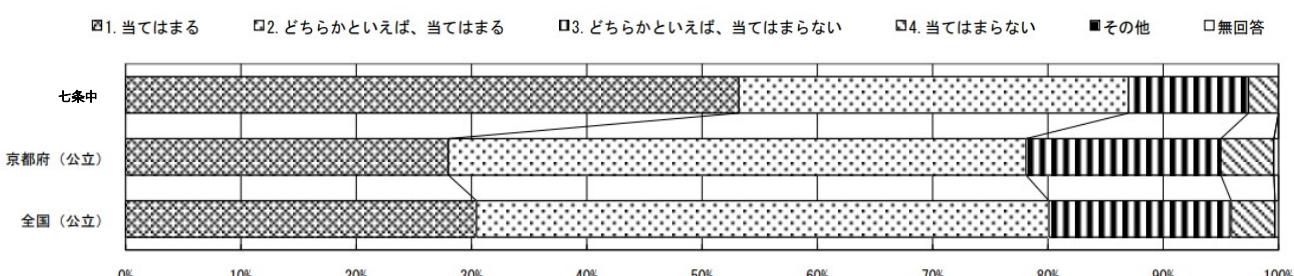
◆普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか



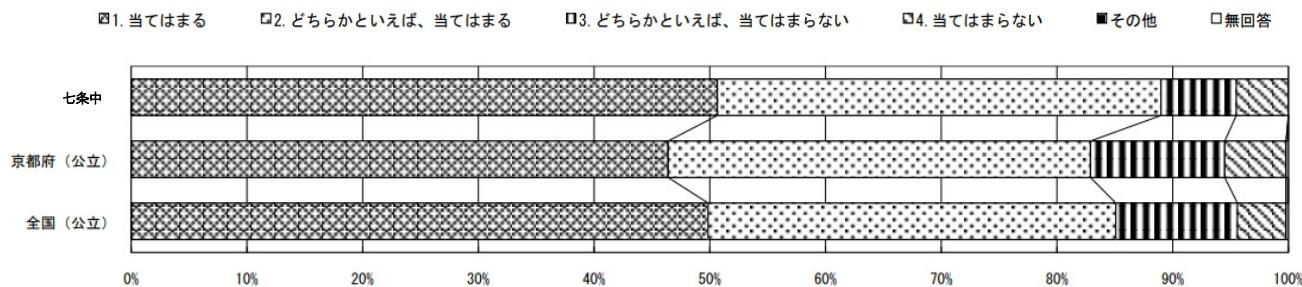
◆国語の勉強は好きですか



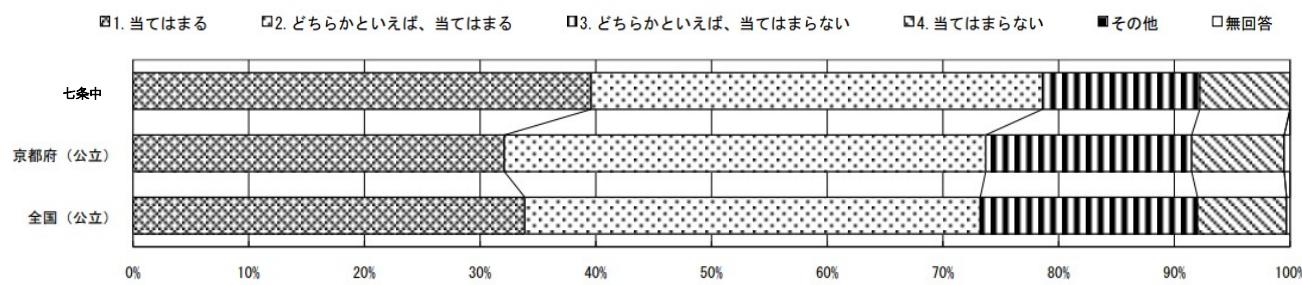
◆国語の授業の内容はよく分かりますか



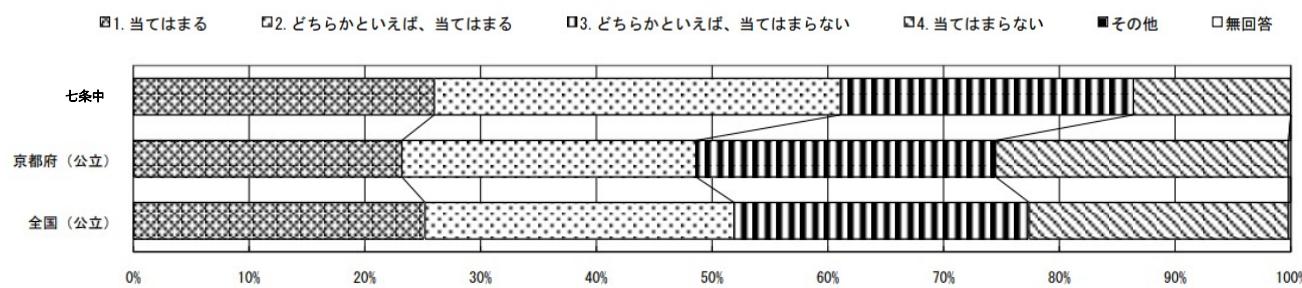
◆数学の勉強は大切だと思いますか



◆数学の授業の内容はよく分かりますか



◆英語の勉強は好きですか



◆英語の授業の内容はよく分かりますか

